

2 小・中・高等学校の接続と小学校の役割

Let's give it a try!	解答例
<p>1. 「読むこと」「話すこと [発表]」「書くこと」の中から1つを選び、小・中・高等学校の目標を比較しなさい。</p>	<p>「書くこと」で考える。書く話題は、小学校が文字、中学校が関心のある事柄（趣味や好き嫌い）、高等学校が日常的な話題（身近な出来事や家庭生活）と高度化している。書く言葉の様相は、小学校が活字体、中学校が簡単な語句や文、高等学校が基本的な語句や文と高度化している。</p>
<p>2. 手紙や電子メールのやり取りの場面で使われる表現が、小・中・高等学校と進むにつれて、どのように広がるのかを考えなさい。</p>	<p>体験したことを伝える手紙を書くという場面で考える。小学校段階では手紙や電子メールのやり取りの場面は登場しない。中学校段階では、以下のような日常的な情報交換の場面が想定されている。</p> <p>Dear Ayumi,</p> <p>Thank you for your visiting to our school. We had a great time with you. We are looking forward to seeing you again.</p> <p style="text-align: right;">Sincerely, Wataru</p> <p>高等学校では、季節ごとの挨拶のメッセージを送る場面、招待状や礼状、履歴書などを書く場面等が想定されている。そのため、それぞれの場合に応じた特有の表現や文法を学習することになる。例えば、履歴書であれば、相手が特定されないので、Dear 固有名詞ではなく、Dear Sir or Madam や To whom it may concern を使うことになる。このように語彙や表現も高度化されていく。</p> <p>ちなみに、小学校段階では、<u>I went to the sea. I enjoyed BBQ. I ate beef. It was delicious.</u> などの定型表現を書き写して日記を書くなどの活動はある。しかし、過去形のルールについては理解していない。</p>